

Merry Christmas

ブロードウェイ・ミュージカル

34丁目の奇跡 HERE'S LOVE

平成11年度文化庁移動芸術祭巡回公演
(秋季公演)
厚生省中央児童福祉審議会推薦
平成10年度推薦文化財
宝くじ文化公演

一番大切な人と見てほしい。
サンタとあの仲間たちがぼくらの街に帰ってくる!



■ 平成11年度文化庁移動芸術祭巡回公演

11月13日(土) 18:30 開場 19:00 開演 黒部市国際文化センター(コラーレ)

■ 入場料 S席4,500円(指定) A席3,800円(指定) B席1,500円(高校生以下・自由席)

■ プレイガイド コラーレ・黒部メルシー・新川文化ホール・魚津サンプラザ・コスモホール・入善コスモ21
セレネ美術館・西武百貨店富山店・富山大和・インフォマート

■ 主催 文化庁/財全国公立文化施設協会/富山県移動芸術祭実行委員会(富山県・黒部市・黒部市教育委員会・
黒部市国際文化センター・富山テレビ放送・読売新聞社)

ニューヨーク西34丁目、メイシーズに起きた奇跡とは? クリスマス・ミュージカルの決定版、ご声援にお応えして再演決定!!

11月の第4木曜日に盛大な感謝祭パレードを催すことで有名な、ニューヨークに実在する老舗デパート“メイシーズ”。そこにサンタクロースそっくりの老人クリスが現れたところからこの物語は始まります。果たして彼は本物のサンタクロースなのか?そもそもサンタクロースは本当にいるのか?ニューヨークは彼のおかげで大騒ぎに…。

「目に見えないものを信じる心」「他人を思いやる優しさ」をテーマにしたこの物語は、子どもたちに夢を、大人たちにサンタクロースを信じていた頃の純粋な心を思い出させてくれる、心温まるミュージカルです。



▲巨大なバルーンを使ったメイシーズのパレードはニューヨークの風物詩。

本作品の原形となる映画『三十四丁目の奇跡』は、1947年に公開され複数のアカデミー賞を受賞。今日でも本国アメリカでは、クリスマスシーズンになるとテレビ放映される不朽の名作です。その後'63年にはブロードウェイミュージカル『HERE'S LOVE』としてロングラン上演、'94年にはリメイク版映画『34丁目の奇跡』として世界的大ヒットをおさめました。

日本初公演となった昨年の舞台は、全国24会場、計43回にわたる公演で大好評を博し、公演中から'99年の再演を待ち望む声が上がるほどでした。そして'99年、サンタとあの仲間たちがいよいよ帰ってきました!

素敵なお届けする豪華キャスト!



細川俊之



土居裕子



加納 竜



佐藤 輝



佐山陽規



中村方隆



武岡淳一



川北良介



岩渕憲昭



藤浦功一



照井悠也



一倉千夏



内藤聖夜



初音ひかり



花井利佳子



松下美穂



石神瑠鈴



佐藤 悠



遠藤 舞



小宮美穂



伊藤雄城



金澤 匠

■ストーリー

クリスマス・イルミネーション瞬くニューヨーク。駆け出し弁護士のフレッド(加納竜)はおしゃまな少女・スーザンと出逢う。彼女の母・ドリス(土居裕子)は、西34丁目のデパート“メイシーズ”で働くキャリア・ウーマンだが、離婚して男性不信となり、スーザンにあざけ話をサンタクロースを信じないように言い聞かせていた。そんなドリスの前に、サンタクロースそっくりの老紳士・クリス(細川俊之)が現れる。彼を感謝祭パレードのサンタクロース役に起用したところ、ニューヨーク中の評判を呼んで“メイシーズ”は大成功。「サンタクロースなんか信じない」と言っていたスーザンまでもがクリスを本物のサンタクロースだと思い込んでしまう。スーザンをクリスに会わせたのがフレッドだと知ったドリスは、彼の家に怒鳴り込む。しかし2人は、反発しあいながらもやがて互いに惹かれあうのだった。一方クリスは、自分を本物のサンタクロースだと主張したために、裁判所を巻き込んだ大騒動を引き起こしてしまう。クリスを助けようとするフレッド、ドリス、スーザンたち。裁判の結果は?フレッドとドリスの恋の行方は?スーザンのクリスマスプレゼントはどうなるのか?その時、34丁目に起きた奇跡とは!?